

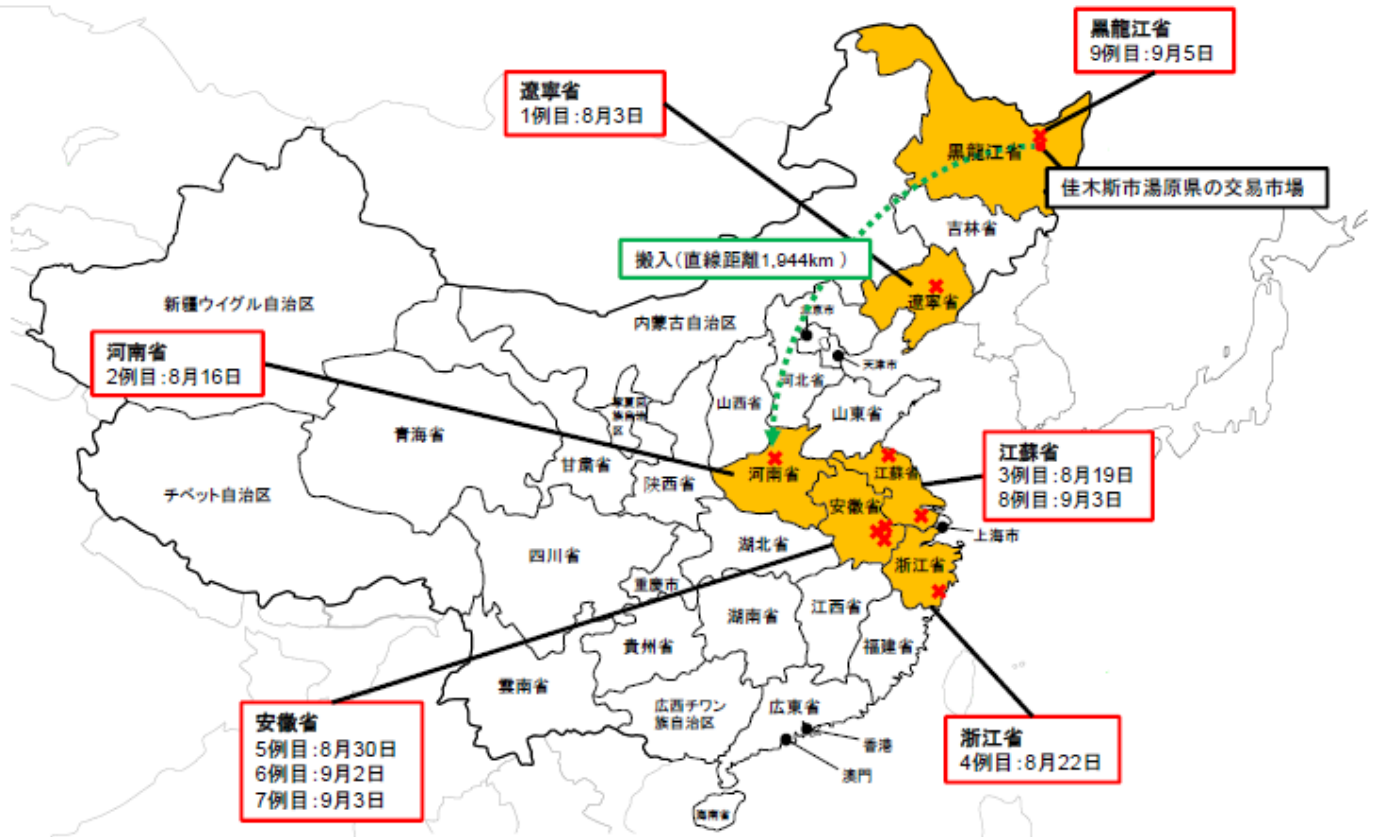
～アフリカ豚コレラ、中国でまん延か～

“侵入防止”に全力を！

先月初めに、中国でアフリカ豚コレラが確認されてから、約1か月の間に、地図に示したように、6つの省で9例が確認されています(9月6日現在)。これまでの発生状況からみると、感染はさらに拡大する勢いです。

生産者並びに関係者の皆様は、本病の特徴(次ページ参照)をご理解の上、国内への侵入防止対策を徹底してください。

中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



2018年9月5日現在

※ 中国当局からの情報を元に作成。

※ 日付は確定診断日

アフリカ豚コレラとは

【病気の特徴】

- ✓ 原因はアフリカ豚コレラウイルス(人には感染しない)
- ✓ 過去の発生事例では、飛行機や船舶から出るウイルスに汚染された厨芥残渣を豚に給与したり、感染したイノシシとの接触が原因とされている
- ✓ 豚は品種、日齢、性別にかかわらず感受性が高い、母豚は妊娠時期にかかわらず流産
- ✓ 発熱(40~42℃)、元気消失、食欲不振等を示し、経過は甚急性から慢性まで多岐にわたる
- ✓ 病原性の強さによっては、致死率が100%になることもある
- ✓ ワクチンはない(ワクチンによる予防ができない)



死亡豚



チアノーゼ

写真出典: 国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

【侵入防止対策】

- ✓ 人、物、車両によるウイルスの持ち込み禁止
 - ・衛生管理区域・豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
 - ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
 - ・人・物の出入りの記録
 - ・飼料に肉を含み、又は含む可能性のあるときは、予め70℃、30分間以上、又は80℃、3分間以上の加熱処理を徹底
- ✓ 野生動物対策
 - ・飼料保管場所等へのネズミ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
 - ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓
 - ・死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないように適切に保管
- ✓ 関係者が発生国へ行く場合の留意事項
 - ・家畜の飼養場所、家畜市場等の畜産関連施設へは近づかない
 - ・やむをえず、関連施設へ立入ったり、豚等(の肉)と接触した場合は、帰国時に動物検疫所のカウンターに立寄る
 - ・発生国から豚肉や肉製品を国内に持ち込まない。

【異常が認められる場合】

豚が原因不明で突然死亡した場合や本病が疑われる場合は、速やかに飯田家畜保健衛生所へ連絡してください(電話0265-53-0439、休日、夜間は担当者に転送されます)。